

2020年 自己評価公表シート

2020/2/29

幼保連携型認定こども園 野方保育園

1 本園の教育・保育理念

子どもひとりひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

2 教育・保育方針

のびのびとした保育環境のなかで、さまざまな経験を積み重ねながら、生きる力の基礎を養い、豊かな館背をもった子どもを育成する。

3 保育目標

- ・明るく元気な子ども
- ・おもいやりのある子ども
- ・あいさつのできる子ども

幼保連携型認定こども園として、保護者の多様なニーズに対応するため教育・保育に配慮し、希望があれば一時預かり事業・延長保育事業を実施する。

《評価》

- A 達成されている。
- B 取り組んでいるがまだ不十分。
- C 全くできていない。

4 子供の教育・保育目標(学年の重要点)

- ・乳児 生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ
- ・1歳児 行動範囲が広がり模索活動を盛んにする
- ・2歳児 象徴機能や想像力を広げながら集団活動に参加する
- ・3歳児 身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する
- ・4歳児 信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする
- ・5歳児 集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる

評価

A
A
A
A
A
A

5 教育・保育要領上の教育及び保育の基本及び目標

- ・教育・保育の基本については要領の4つの事項を重視する。
- ・目標は生活を通して、生きる力を育成する
- ・幼保認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努める。

A
A

6 教育及び保育において育みたい資質・能力

教育及び保育の基本を踏まえ、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学び向かう力、人間性等」という資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。これは第2章のねらい及び内容に基づく活動全体で育むものである。

B

7 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

第2章のねらい及び内容に基づく活動全体を通し資質・能力が育まれた園児の修了時の姿であり、保育教諭等が指導を行う際に考慮する10項目とそれに対応した46細目がある。

8 小学校との接続

創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培う。小学校教育への円滑な接続に向けてアプローチカリキュラムの改善を図る。また、保幼小中一貫教育に鑑み、児童等との交流、教師の意見交換や合同研究の機会を図る。

B

9 家庭との連携

園児の生活全体を豊かにするために家庭との連携を図る。家庭調書等による状況把握、入園のしおによる園の情報提供にて互いの情報を共有する。また、教育及び保育の全体的な計画や園便り、保育ドキュメンテーションによる保育の説明を丁寧に行う。

A

10 特に配慮すべき事項 発達の連続性と養護

満3歳未満児の個人的指導、満3歳以上児の集団教育に加え、異年齢児の触れ合いの時間もも
また、集中して遊ぶ場やくつろぐ場の調和を図る。
養護は生命の保持と情緒の安定を図りながら教育・保育を展開する他、特別な配慮を要する園児の
導に努める。

A

A

11 養護 (保育教諭が行う事項)

乳児

生命の保持
情緒の安定

- 生理的欲求の充実を図る
- 応答的な触れ合い
- 情緒的な絆の形成

A

A

A

1歳児(満1歳以上)

生命の保持
情緒の安定

- 生活リズムの形成を促す
- 温かなやり取りによる心の安定

A

A

2歳児(満3歳含む)

生命の保持
情緒の安定

- 適度な運動と休息の充足
- 自我の育ちへの受容と共感

A

B

3歳児

生命の保持
情緒の安定

- 健康的生活習慣の形成
- 主体性の育成

A

B

4歳児

生命の保持
情緒の安定

- 運動と休息のバランスと調和を図る
- 自己肯定感の確立と他者の受容

A

B

5歳児

生命の保持
情緒の安定

- 健康・安全への意識の向上
- 心身の調和と安定により自信を持つ

B

A

12 教育及び保育

(乳児) 乳児保育

三つの: 健やかに伸び
伸びと育つ

- 身体機能の発達
- 食事睡眠等の生活のリズム感覚の芽生え

A

A

身近な人と気持ち
が通じ合う

- 特定の大人との深い関わりによる愛着心の形成
- 喃語の育みと応答による言葉の芽生え

A

A

身近なものに関わり
感性が育つ

- 身近な環境への興味を持つ
- 身体の諸感覚認識による表現

B

B

1歳児(満1歳以上)

5領域 保育
健康

- 歩行の確立による行動範囲の拡大

A

人間関係

- 周囲の人への興味、関心の広がり

A

環境

- 好奇心を高める

A

言葉

- 言葉の獲得
- 話しはじめ

B

A

表現

- いろいろな素材を楽しむ

A

5領域	2歳児(満3歳未満) 保育 健康	<ul style="list-style-type: none"> ●排泄の確立 ●運動、指先の機能の発達 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	A	B	
	A					
	B					
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ●自己主張の表出 ●友達との関わりの増大 ●思い通りにならないことへの葛藤経験 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	A	B	A
	A					
B						
A						
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●自然事象への積極的な関わり ●自然の大きさ、美しさ、不思議さへの気づき 					
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉のやり取りの楽しさ ●日常の挨拶への親しみ 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	A	B		
A						
B						
表現	<ul style="list-style-type: none"> ●象徴機能の発達とイメージの膨らみ ●音、色、形、手触り、動きを感じる楽しさ 	<table border="1"> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	B	A		
B						
A						
5領域	3歳児(満3歳以上) 教育・保育 保育 健康	<ul style="list-style-type: none"> ●意欲的な活動 ●基本的生活習慣の確立 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	A	A	
	A					
	A					
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ●自分でしようとする意志 ●道徳性の芽生えと並行遊びの充実 	<table border="1"> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	B	B	
	B					
B						
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●身近なものを大切にすること ●身近な環境への積極的な関わり 	<table border="1"> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	B	A		
B						
A						
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の美しさ、楽しさへの気づき ●生活の中での必要な言葉の理解と使用 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	A	B		
A						
B						
表現	<ul style="list-style-type: none"> ●感動体験を伝え合う楽しさ ●自由な表現と豊かな感性の育ち 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	A	A		
A						
A						
5領域	4歳児 教育・保育 健康	<ul style="list-style-type: none"> ●健康への関心 ●体全体の協応運動 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	A	B	
	A					
	B					
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間との深いつながり ●相手の思いへの気づき 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	A	B	
	A					
B						
環境	<ul style="list-style-type: none"> ●社会事象への関心の高まり ●工夫して遊ぶ楽しさ 	<table border="1"> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	B	A		
B						
A						
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ●伝える力、聞く力の獲得 ●絵本や物語への親しみ 	<table border="1"> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	B	A		
B						
A						
表現	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな感性による表現 ●心を動かす出来事による想像力と感性の獲得 	<table border="1"> <tr><td>A</td></tr> <tr><td>A</td></tr> </table>	A	A		
A						
A						

5歳児 教育・保育 5領域 健康	●健康増進とさらなる挑戦への意欲 ●安全で安定感のある行動	A
		B
人間関係	●社会性の確立と自立心の育成 ●自分で考え自分で行動 ●友達と意思の共感	A
		B
		A
環境	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ ●物の性質や仕組みへの興味と関心 ●数量、図形、標識、文字、国旗への関心	A
		B
		A
言葉	●文字や数字の獲得による遊びの発展 ●体験によるイメージや言葉の広がり	B
		B
表現	●ダイナミックな表現 ●感動の共有 ●体験を通じた表現	A
		A
		B
13 健康支援／状態把握・増進・疾病対応	●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握（月1回 身体測定） ●嘱託医による健康診断 * 内科健診（年2回）* 歯科検診（年1回） ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●年間保健指導計画 ●年1回職員健康診断及び毎月の検便（調理員・調乳担当者） ●食物アレルギー、痙攣等の持病のある園児への対応	A
		B
		B
		B
		A
		B
		B
14 食育の推進 5領域との相関性を構築する。 ●栄養バランスを考えた自園給食・手作りおやつの提供 ●食育活動の実施 ●全園児へ炊き立て米飯の提供 ●行事食の提供 ●菜園作りの実施 ●クッキング保育の実施 ●親子給食の実施 ●毎月1回お弁当の日実施 ●飲食店でのお食事ランチ体験		A
		B
		A
		A
		A
		B
		A
		A
		A
		A
A		
15 環境、衛生・安全管理 ●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員の清潔保持（全職員の検便 年1回） ●感染予防対策マニュアルと実施及び保護者との情報共有 ●インフルエンザ対応 ●施設内外の設備・用具等の安全管理及び自主点検 ●学校薬剤師による学校環境衛生検査 ●警察署指導安全教室 ●年間安全指導計画 ●事故処理簿・ヒヤリハット記録の記入と職員の情報の共有 ●園内外・保育室監視カメラ設置		B
		B
		A
		A
		B
		A
		B
		A
		A
		A
16 災害への備え ●避難訓練（火災、地震、不審者対応）の実施（毎月） ●消防署視察 ●消火訓練の実施 ●被災時における対応と備蓄 ●年2回外部業者による消防設備点検		B
		A
		A
		A
		A
		A

17 特色ある教育と保育

- 外部講師による英語教室(月1回)
- 体育(体操教室 週2回ストレッチ、跳び箱、組体操)
- 石井方式国語教育導入(漢字絵本・漢字カード・暗誦・百玉そろばん)
- ピアノ、合奏の取り組み
- 園外保育を通しての体験活動(遠足月1回実施・その他各クラスで園外保育の計画実施)
- 音楽・身体を通じた表現活動

A
A
A
A
A
A

18 研修計画

- 外部研修への計画的参加
- 園内研修(各種マニュアルの共通理解、保育内容、ケース会議)
- 研修報告会
- 実技研修
- キャリアアップ研修への参加
- 幼稚園免許更新講習
- 救命救急講習
- 年間研修計画

B
B
B
B
A
A
B

19 地域の実態に対応した保育事業と行事への参加

- 人的物的面の確保、保育教諭の確保により乳児保育を含む3歳未満児の受け入れを推進
- バス送迎と中継所を設け、広域からの受け入れを可能にする。
- 老人会との交流(もちつき・敬老会参加)
- 地域行事への参加(野方地区秋祭り、照日神社祭り、野方地区福祉大会等(コロナウイルス中止))
- 実習生・職場体験学習等の受け入れ対応しながら、社会及び地域貢献に努める。

A
A
A
B
A

20 自己評価等

- 法人施設による適切な施設運営管理の評価
- こども園の評価(全体の反省による全体的な計画等への反映)
- 保育教諭等の評価(ふりかえりシート・自己チェックリストの実施)

A
A
A

21 その他

- 人権尊重
- 虐待確認保護
- 個人情報保護
- 苦情処理解決対応及び第三者委員会設置
- 栄養士等の専門者の配置
- ホームページの開設
- 障がい児保育
- 延長保育等
- 学童保育

A
A
A
A
A
B
B
A
A